

# 水道事業の今後の収支見通し の見直しについて

2023（令和5）年2月  
大阪市水道局



# 1 はじめに

- 水道事業の今後の収支見通しについては、2022（令和4）年3月に策定した「大阪市水道経営戦略（2018－2027）【改訂版】」の第1編第5章において、経営戦略期間の2027(令和9)年度までと、その後10年間（2028～2037（令和10～19）年度）について明らかにしたところです。
- 一方で、この間の電気料金や物価の急騰は、動力費や原材料費・労務費の増加など水道事業の経営に大きな影響を与えています。
- このため、こうした経営環境の急激な変化を踏まえ、このたび収支見直しを見直すこととしたものです。
- なお、この見直し後の収支見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき一定の前提条件のもとで試算したものであり、特に、経営戦略期間終了後の10年間（2028～2037（令和10～19）年度）の収支見通しについては、長期間にわたる予測となることから、今後の社会経済環境の変化や経営戦略の取組の進捗等による影響も考えられ、異なる結果となる可能性があります。
- このため、この見直し後の収支見通しについては、水道事業を取り巻く社会経済環境の変化に対応して、適宜、見直すこととしています。



## 2 見直しの主な内容

### ■ 水道事業を取り巻く経営環境の変化を反映

- ① 電気料金の高騰に伴う動力費の見直し
- ② 物価高騰に伴う原材料費や労務費の見直し

### ■ その他現時点における最新のデータを反映

- ③ 「大阪市水道基幹管路耐震化PFI事業」（案）（2023（令和5）年2月公表）の内容を反映
- ④ 2023（令和5）年度予算（案）及びその前提となっている事業計画の内容を反映
- ⑤ 2022（令和4）年度の予算額を決算見込額に置き換え  
など

# 3 見直し後の収支見通し

## (1) 2023 (令和5) 年度以降の経常収支の推移

億円 (税抜)

R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
39	28	20	4	0	3	13	8	1	▲14	▲33	▲41	▲51	▲58	▲68

経営戦略期間

基幹管路耐震化PFI事業期間

黒字が3億円~21億円減少

赤字が▲13億円~▲44億円増加

### 経営戦略【改訂版】 (2022 (令和4) 年3月時点) の収支見通し

億円 (税抜)

R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
48	42	40	25	19	16	25	12	4	▲1	▲3	▲6	▲13	▲14	▲24

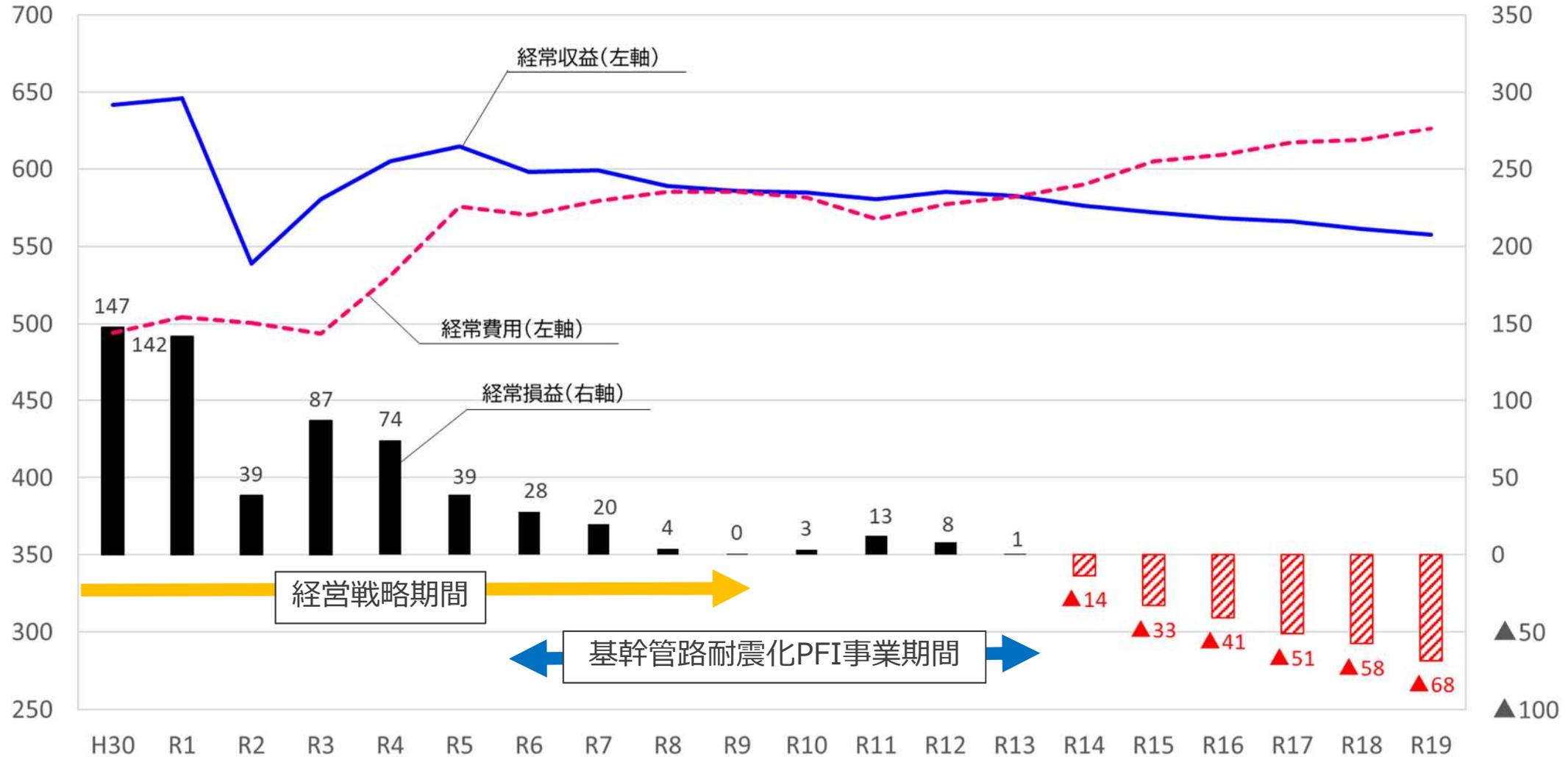
- 2031 (令和13) 年度まで黒字が続く状態は変わらないものの黒字額は大幅に減少
- 恒常的な赤字となる2032 (令和14) 年度以降の赤字額が大幅に増加

# 3 見直し後の収支見通し

## (2) 経常収益と経常費用の推移

経常収益、経常費用  
(単位:億円(税抜))

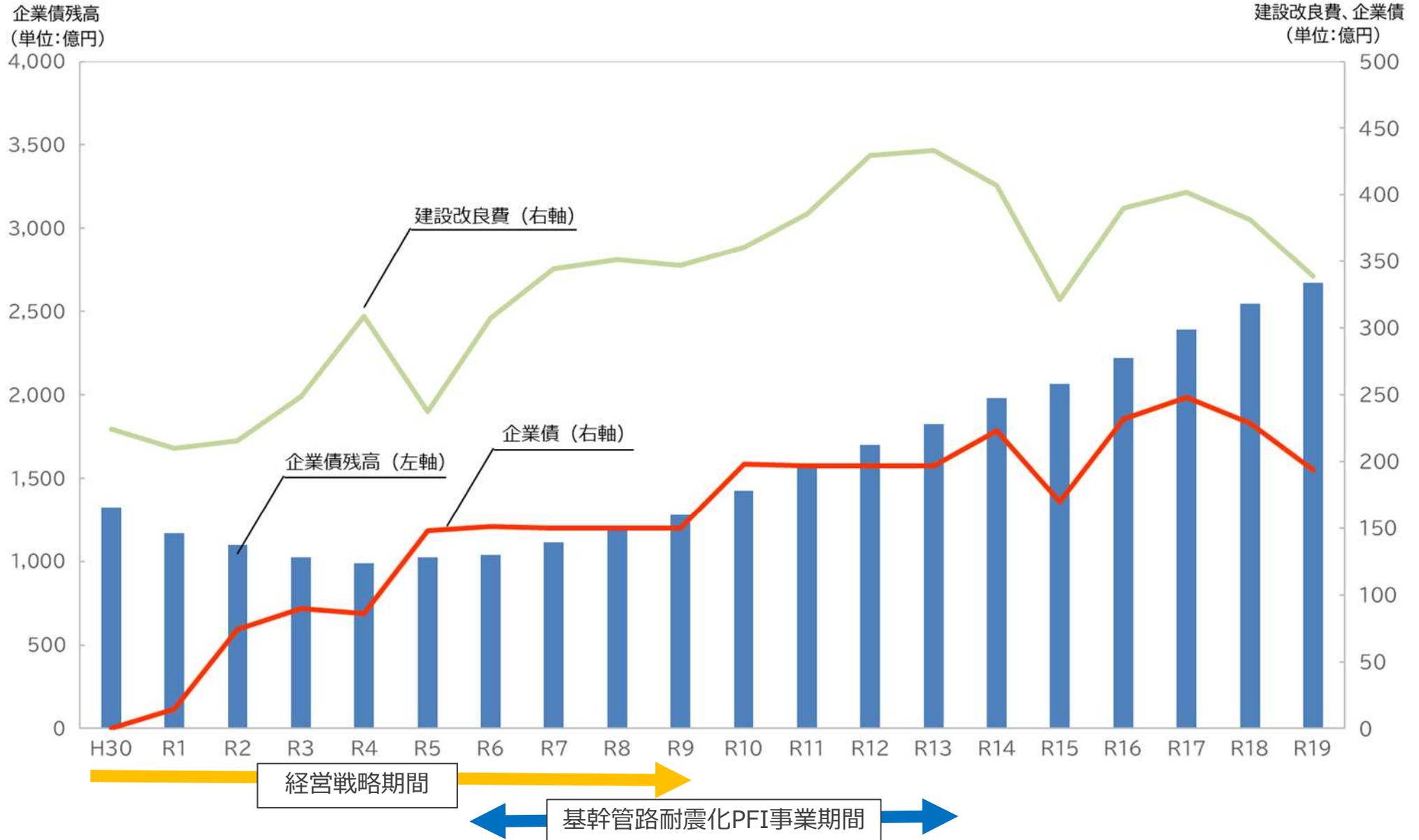
経常損益  
(単位:億円(税抜))



※ H30～R3年度は実績値、R4は決算見込額、R5は予算(案)の額

# 3 見直し後の収支見通し

## (3) 資本的収支（建設改良費及び企業債）の推移



※ H30～R3年度は実績値、R4は決算見込額、R5は予算（案）の額



## 4 試算の前提条件

### 収益的収支

#### (経常収益)

##### 給水収益

大阪市上水道需要予測（2022（令和4）年1月公表）に基づく有収水量を前提に供給単価（実績値：2017～2021（平成29～令和3）年度（2020（令和2）年度を除く）の決算額）の平均）を乗じて算出

#### (経常費用)

##### 人件費

人員計画における職員数の削減計画に基づくとともに、2022（令和4）年度の改定後の給与水準が継続するものとして算出

##### 物件費

- ・変動費（動力費及び薬品費）は各年度の給水量に連動するものとして算出。うち動力費は、電気料金算定の基礎となる燃料費調整単価が、経営戦略期間中は2023（令和5）年1月時点の水準のまま推移し、その後は2022（令和4）年度の平均単価で推移するものとして算出
- ・変動費以外の物件費等については、2023（令和5）年度予算案における水準をもとに、経営戦略の取組により維持される水準が経営戦略期間終了後も継続するものとして算出

##### 減価償却費

大阪市水道施設基盤強化計画等における事業の現時点の進捗状況を反映した上、計画どおり事業が進捗するものとして算出した建設改良費に基づき、各固定資産の法定耐用年数により算出

##### 支払利息

既発債については、償還計画に基づき算出。新発債（借入期間：10年（借換あり））については、金利が現時点の水準から2031（令和13）年度の年1.24%まで段階的に上昇し、以降は固定するものとして算出



## 4 試算の前提条件

### 資本的収支

#### (資本的収入)

##### 企業債

各年度末の資金残高を110億円以上を確保することを前提に、各年度の建設改良費とこれに充てる自己資金額の差額（不足額）を企業債借入額として算出

#### (資本的支出)

##### 建設改良費

大阪市水道施設基盤強化計画等に基づく事業や大阪市水道基幹管路耐震化PFI事業が計画どおり進捗するものとして算出

# 參考資料

# 1 見直し後の収益的収支の内訳

<収益的収支>

(単位:億円(税抜))

	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算	R4決見	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画	R10計画	R11計画	R12計画	R13計画	R14計画	R15計画	R16計画	R17計画	R18計画	R19計画
経常収益	642	646	539	580	605	615	598	599	589	586	585	581	585	583	576	572	568	566	561	558
給水収益	596	593	493	536	515	564	547	548	538	535	534	530	535	532	527	523	520	518	513	510
その他	46	53	46	45	90	51	51	51	51	51	51	51	51	51	49	49	48	48	48	48
経常費用	494	504	501	494	531	576	570	579	585	585	582	568	577	582	590	605	609	617	619	626
人件費	111	115	112	110	113	112	112	106	109	102	104	98	101	98	101	100	96	96	94	91
物件費等	190	197	199	194	233	272	268	269	264	264	252	240	240	240	243	245	251	255	252	257
減価償却費	165	168	168	171	169	177	177	193	201	208	214	218	223	229	229	240	240	242	246	249
支払利息	28	25	21	19	16	14	12	11	11	11	11	12	13	15	17	20	22	24	27	30
経常損益	147	142	39	87	74	39	28	20	4	0	3	13	8	1	▲14	▲33	▲41	▲51	▲58	▲68
純損益	234	160	59	84	69	36	36	20	4	0	3	13	8	1	▲14	▲33	▲41	▲51	▲58	▲68

経営戦略期間

基幹管路耐震化PFI事業期間

※表内計算について、端数処理の関係により数値が合わないことがあります。

## 2 見直し後の資本的収支の内訳

<資本的収支>

(単位:億円(税込))

	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算	R4決見	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画	R10計画	R11計画	R12計画	R13計画	R14計画	R15計画	R16計画	R17計画	R18計画	R19計画
収入	4	18	81	101	107	189	158	154	154	154	202	201	201	201	227	174	236	252	233	198
企業債	0	15	74	90	86	148	151	150	150	150	198	197	197	197	223	170	232	248	229	194
その他	4	3	7	11	21	41	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
支出	378	379	363	411	433	349	440	423	421	410	416	433	499	508	472	406	470	479	453	407
建設改良費	224	210	215	249	309	238	307	345	351	347	361	386	430	433	407	321	390	402	381	339
償還金等	154	169	148	162	124	112	133	78	70	63	55	47	69	74	65	85	80	78	72	69
収支差引	▲374	▲362	▲282	▲311	▲325	▲160	▲282	▲269	▲267	▲256	▲214	▲232	▲298	▲307	▲245	▲233	▲234	▲228	▲220	▲210

資金収支	54	▲30	▲54	▲46	▲62	69	▲45	▲25	▲34	▲16	31	33	▲28	▲36	0	▲0	0	▲0	1	▲0
資金残高	355	324	271	225	163	231	186	161	127	111	141	175	146	111	111	110	110	110	111	110

企業債残高	1,325	1,171	1,097	1,025	987	1,023	1,041	1,113	1,193	1,280	1,423	1,573	1,701	1,824	1,982	2,067	2,219	2,390	2,547	2,673
-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

経営戦略期間

基幹管路耐震化PFI事業期間

※表内計算について、端数処理の関係により数値が合わないことがあります。

### 3 見直し後の収支見通しを踏まえた経営戦略の経営指標の推移

#### <経営指標の推移>

	H30決算	R1決算	R2決算	R3決算	R4決見	R5計画	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
給水収益に対する 企業債残高割合	222	197	223	191	192	181	190	203	222	239
建設改良費への企業 債充当率※	0	7	34	36	28	62	49	43	43	43
経常収支比率	130	128	108	118	114	107	105	103	101	100

※(企業債/建設改良費)で算出しています。

#### 経営戦略における2027（令和9）年度末の目標

- ・ 経常収支比率：100%以上
- ・ 給水収益に対する企業債残高の割合：270%以下